

知識・技能

各10点 [50]

1. 下の資料を見て答えなさい。 各10点

おおこうづぶんすいろ  
大河津分水ができるまで

時代	年	できごと
江戸	1716 1735 1757	・寺泊町の本間数右衛門が大河津分水の工事を幕府に願っていた。 ・大こう水がおこった。
明治	1868 1869 1870 1875 1881	・信濃川ぞいの町や村が大こう水におそわれた。 ・田沢与一郎が政府に大河津分水工事を願っていた。 ・工事がはじまった。 ・新潟港が浅くなるのが理由で工事が中止になった。 ・田沢与一郎・田沢実入などが、大河津分水の工事のための運動をさかんに行った。
治	1896 1909 1911	・信濃川が大こう水になった。 ・大河津分水の工事がはじまった。 ・信濃川が大こう水になった。
大正	1922 1924	・大河津分水にはじめて水を通した。 ・大河津分水の工事が終わった。
昭和	1927 1931	・分水路のせきがこわれて、大きなひ害がでた。 ・こわれたせきの工事が終わった。

(1) 大河津分水の工事を最初に願いでた人はだれか、○をつけなさい。

[ ] 田沢与一郎 [ ] 本間数右衛門

(2) 大河津分水の工事を人々が願いでたのはなぜですか。

[ ]

(3) 1875年に工事が中止になったのはなぜですか。

[ ]

(4) 最初に工事を願いでてから工事が終わるまでに、およそ何年かかりましたか。

[ およそ 年 ]

(5) 正しい方に○をつけなさい。

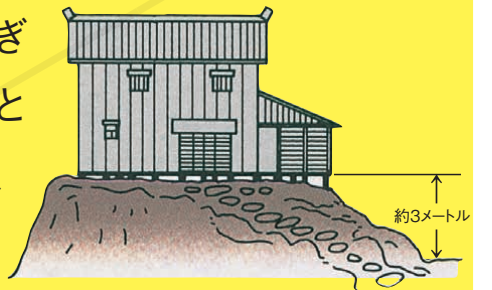
[ ] 大河津分水は、多くの人々の努力によって長い年月をかけてできあがった。

[ ] 大河津分水は、べんりな機械を使って、短い期間でできあがった。

思考・判断・表現

各10点 [50]

2. 右の図は、人々が大水にそなえた工夫です。つぎの文の [ ] に合うことばを [ ] からえらび、記号を書きなさい。



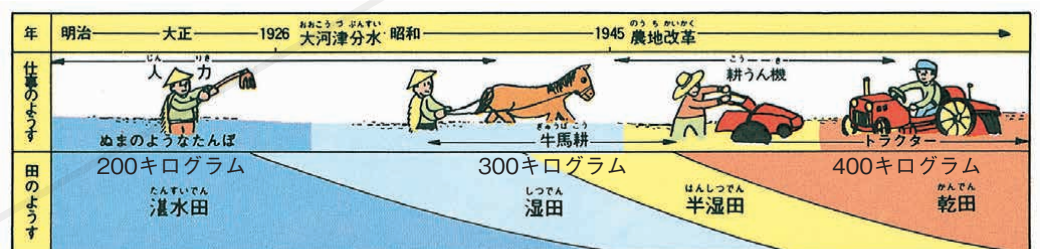
各10点

人々は、たびたび大水におそわれました。そのため、人々は、家があるところよりも [ ] 土をもり、その上にくらをたてました。くらの中には、 [ ] のほかたいせつなものを入れておきました。大水になったときの行き来につかう小さな [ ] をおいてあるくらもありました。

ア 高く イ 低く ウ 米 エ 川舟

3. 白根郷の田の仕事を見て、正しいものに2つ○をつけなさい。 各10点

しろねごう  
白根郷の田のしごとのようすのうつり変わり (『新潟の米百年史』)



(「田のようす」のなかの数字は10アールあたりの「米のとれ高」を表す)

[ ] 大河津分水ができてから、田のしごとがやりやすくなった。

[ ] 大河津分水ができて大水の心配はなくなったが、米のとれる量は変わらなかった。

[ ] 大河津分水ができたあとも、人々は田の仕事をやりやすくするように、努力をしてきた。